令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 06 社会保障の健全運営

主管課： 国保年金課

関係課： 納税課、社会福祉課、介護福祉課、健幸長寿課、保健センター、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	安心して社会保障を受けることができるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

被保険者1人当たりの医療費・給付費（年間）（国民健康保険医療費＋後期高齢者医療保険医療費＋介護保険給付費）（千円） 国保年金課

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
1,325.00	1,365.00	1,341.00	1,385.00	1,304.00	1,359.00	1,465.00
向上指針	下がると良い	（状況）前年度と比較して55千円増加しました。目標値の範囲内です。 （原因）国民健康保険医療費、後期高齢者医療医療費、介護保険給付費の全てが増加しています。前年度の新型コロナウイルス感染症の影響による減少に対する反動や、居宅介護サービスの利用増加が影響していると考えられます。				
対前年度	低下					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	11,659,632	11,439,020	12,138,702	12,714,413	12,773,950
人件費	127,804	90,984	79,161	0	0
トータルコスト	11,787,436	11,530,004	12,217,863	12,714,413	12,773,950

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 国民健康保険制度の健全な運営	横ば	低下			5,844,161	5,390,111	5,658,803	5,898,461	5,898,461
02 後期高齢者医療制度の健全な運営	横ば	低下			1,076,897	1,211,244	1,255,843	1,326,003	1,367,381
03 介護保険制度の健全な運営	向上	低下			3,814,776	3,947,671	4,176,223	4,429,709	4,416,966
04 医療福祉費支給事務の遂行	向上				412,460	360,197	430,055	457,678	457,678
05 セーフティネットによる自立支援	横ば	低下	横ば		500,999	508,484	554,233	576,867	611,957
99 施策の総合推進					10,339	21,313	63,545	25,695	21,507

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

コロナ禍においても、必要な感染対策を行った上で健康診査の受診促進や予防を重視した取組、ジェネリック医薬品の使用促進、介護予防事業に努めました。健診受診率はコロナによる受診控え等により低い割合となっていますが、ジェネリック医薬品使用率とともに、県内市町村において上位の状況となっています。 また、1人当たりの医療費・介護給付費は、前年度のコロナによる受診控えによる減少に対する反動等により増加していますが、今後も増加を抑制していくことが課題となります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

健全な社会保障事業を運営するため、引き続き、医療費及び介護給付適正化の取組や予防重視の保健事業を実施し、財源の確保に努めます。 コロナ禍において、健康診査では安心して受診できる環境を整えとともに、医療等を必要とする方に適切な受診、必要な受診等を促すように努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

健全な社会保障事業を運営するため、引き続き、医療費及び介護給付適正化の取組や予防重視の保健事業を実施するとともに、保険料等の財源の確保に努めます。 新型コロナウイルスの感染拡大の状況が継続することが想定されるため、保健事業や介護予防事業では安心して利用できる環境を整えとともに、医療等を必要とする方に適切な受診、必要な受診等を促すように努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持